



宮原良治司教認可
発行所 福岡司教区本部
福岡市中央区浄水通6-28
発行 人
カトリック福岡司教区三
編集人 森山信三
TEL 092-522-4059
FAX 092-523-2152
振替口座 01760-6-20729
カトリック福岡司教区
定価 一部60円

2010年平和旬間 日本カトリック司教協議会 会長談話

敵意という隔ての壁を取り壊す勇気を

日本のカトリック教会は、毎年8月6日から15日までを平和旬間としています。

1981年にヨハネ・パウロ二世前教皇が来日し、広島と長崎で平和のためのスピーチを出されたことを機に、この平和旬間が始まりました。

戦記念日までのこの10日間は、日本のカトリック信者にとって、特に平和について学び、平和のために祈り、行動する期間となっています。

ヨハネ・パウロ二世教皇は広島で「過去を振り返ることは将来に対する責任をになう

あなたは、いのちの主、キリストの母マリアを、死後の滅びにゆだねることなく、きょう天の栄光に上げられました。



こうして聖母マリアは、教会の初穂として神の国の完成にあずかり、旅する民の希望、信じる者の慰めとなりました。

8月の意向

教皇様の意向のために祈りましょう
【一般】 失業者と野宿者
【宣教】 差別、飢餓、そして、強制移住の犠牲者
【日本の教会】 「平和旬間」に平和のために祈る

それがヨハネ・パウロ二世教皇の言葉のように過去の過ちに目を向けたところからの決意であったことに意味があります。

去る5月、長崎教区の高見三明大司教は原爆によって廃墟となった浦上の地から拾われた「被爆マリア」を携え、米国民と国連関係者に核廃絶を訴えました。

昨年、米国のオバマ大統領はプラハ宣言で核兵器のない世界の実現を訴えました。日本に対する直接的謝罪ではないにしろ、人類史上初めて原子爆弾を投下した自国の「道義的責任」に触れました。

福岡教区教区長 ドミニコ宮原良治司教様 司教叙階10周年に際してのお願い



福岡教区の皆様

暑中お見舞い申し上げます。子どもたちも夏休みを迎え、元気に過ごしていることと存じます。

間、教区長不在の空白「牧者のいない有様」の悲哀を味わいました。そんな私たちの教区に2008年3月19日教皇ベネディクト16世は、大分教区の教区長でございましたドミニコ宮原良治司教様を教区長として任命され、同年5月18日に着座され、早2年余りが過ぎております。

この慣れきった安心感の中で今日を迎えております。(マタイ福音書20章1-15)
ところで、この私たちの牧者、福岡教区教区長でございましたドミニコ宮原良治司教様は、この10月1日に司教叙階10周年を迎えられます。

立って宣教司教に携わってくださっています。
教区としては、一つの節目ではございますが司教様の意向も踏まえ、一同に会して何か行事として行うことはいたしません。司祭団としては8月4日(水曜日)にカテドラル大名町教会において行われます司教様の霊名のお祝いミサを司教様とともに感謝のうちに捧げ、あわせてお祝いいたします。

望に変えていく使命が与えられていくと結んでいる。
以上の体験談(2010年四旬節小冊「つなぐ」所収)をグループで輪読し、共感、共鳴し合い、癒しを得た。最初は沈黙が続いたが、参加者のある家族から子どもも統合失調症発症から19年に渡る闘いの経験が話され、それに引き続き「実は身内が統合失調症で、あるいは鬱で悩んでいる」「統合失調症を隠して仕事をしていたが誰にも言えない」と次々に参加者から胸の内が告げられた。息子との永年の闘いに悩む家族に共鳴して、参加者の口から思わず悩み・苦しみが出たのではない。その場に安らぎと解放感が流れた。
黒崎教会信徒



守谷英二

息子は専門学校に学ぶために上京しアパート暮らしを始めた。そのうち連絡が取り難くなり、家賃や電話代の請求書が親元に届くようになった。親がアパートを訪れその異常さに驚き、引き取って、病院めぐりや昼夜逆転の生活が始まる。医師から「薬物依存症」と告げられ入院生活が始まる。

今年も迎える平和旬間において、今一度、新たな決意のもとに平和を祈り、平和のために行動していきましょう。
2010年平和旬間

梅雨の合間の雨上がり山歩きをするためとある山に向かった。雨に濡れた木々や木の葉草花がとりわけ美しい。汗だくになりながら、ふと見ると何かが動いた。蛙である。しかも体長10センチはあろうかという大きな蛙。ところが、つかまえた途端動かなくなると。死んでしまったかと思いつつ、仰向けに寝かせる。死んだように動かない。突付いても動かない。またもとに戻して足で立たせる。動かない。だんだんこちらが不安になる。一体どうしたのだろう。諦めて立ち去ろうとした瞬間、彼彼女(？)は、猛然と草むらに消えて行った。そのとき思った。自分は蛙と遊んでいると思っていたが、本当は蛙に遊ばれていたのではないかと。星野富弘さんの詩にこのようなものがある。「毎日見ている空が変わった。涙を流した友が祈ってくれたあの頃、恐る恐る開いたマタイの福音書。あの時から空が変わった。空が私を見つめるようになった」



日本カトリック司教協議会 会長 池長 潤大司教

▲「心」メタノイアとは、「心を変えよう」ということだと言われる。視点を変えたところ、置かれた厳しい状況や苦しい境遇そのものが好転するわけではない。星野さんが、「空が私を見つめるようになった」と言ったとき、彼の手足が動くようになったわけではない。しかし、自らに起こった不幸な出来事を受け入れ、肯定し、そこから新しい生き方が始まったのではないかと。私たちの日々の生活で、ちょっと視点を変えただけで、視野が大きく広がることがある。小さなことに思い煩うことなく、キリストの視点でものごとを眺めることのできる信仰を願う。 M

2009年(平成21年)度 福岡教区本部 資金収支計算書

《収入の部》

Table with 3 columns: 科目 (Item), 決算 (Accounting), 摘要 (Remarks). Rows include 神学校援助金, 寄付金収入, 分担金収入, etc.

《支出の部》

Table with 3 columns: 科目 (Item), 決算 (Accounting), 摘要 (Remarks). Rows include 教区宗教活動費, 司祭研修会費, 教育育成費, etc.



「それは蜜のように口に甘かった」 (エゼキエル3・3)

そのことばによって神と会え、あのイエスと向き合うことができる。何とありがたいことか。聞いたことばが分か

イエスの口から出たことば、神の心から出たことば。一冊の聖書を聞くとき、そのことばを聞くことができる。

れば勿論、たとえ意味不明であつても、ありがたさに変わりはなく、尊い、愛する方、今も触れることができるのだから。巻物を食べて「それは蜜のように口に甘かった」(エゼキエル3・3)と言うエゼキエルの感動は、皆に約束されたもの。

閉じられた聖櫃の中に聖体となつて静かに息づくいのちの主は、閉じられた聖書の中で文字となつてひそかに息づいておられる。そのみことばの不思議な静まりは、私たちを待つ神の愛、信頼、希望そのもの。この世界にかくも慎ましくご自身を残して、世紀をこえ年月をこえて思いを告

げ続ける神。この凄まじくも素晴らしい事実—この信仰の神秘をどれ程に受けとめているのかと、まずは自分に問わねばならぬ。とはいえ、宣教、特に家族への宣教は至難。ひるんでいるうちに両親共に旅立ってしまった。が、どちらの臨終にも立ち会え、密かに願っていた授洗は適った。正に、「願ったことは必ず聞き入れられる」(参マタイ20・29・34、マルコ10・46・52)、「求めなさい、そうすれば与えられる」(ルカ11・9)のである。2年前の母との死別、それは突然の発病に続く4ヶ月の闘病の末のことで、振り返る

とそこにも驚くほど鮮明に主のみ手が見える。何と優しく細やかに、ゆく道を整えてくださつたことか！主は確かに「世の終わりで、いつも共にいる」(マタイ28・20)方であった。みことばは、こうして私の宣教に先立ち、私の人生に働き、少しの疑念も挟めない程に、その見事な力を、眼前に展開して示された。だから、体験の証しが私の宣教になった。「与えられた神の恵みが無駄に」ならぬよう、見て、聞いて、確認したみことばを語っていききたい。

7月5日、宮原良治司教の要請を受けた4人の修道女がベトナムから来福し、福岡教区に新しい女子修道会「愛の十字架修道会」(院長 Sr. Catarina Lieu) が誕生した。この数年、教区内から撤退する修道会が相次ぎ、寂しさを感じていた教区民には喜ばしいニュースである。4人の修道女は、当分の間、吉塚教会に隣接する三位一体の修道院跡を拠点にし、福岡市内の老司と大濠の修道院に分散して日本語と、日本での習慣や作法を研修することに

なる。同修道会は、すでに大分教区と横浜教区にも招聘され、福音宣教と奉仕活動に励んでいる。院長のSr.リュウは「私たちの修道会は、ベトナムで教会奉仕・社会福祉・教育などの事業に取り組みながら、『キリストの救いのみ業』に預かるように働いています。福岡教区でも宮原司教様のご意向に従って歩みながら、聖なる十字架の神秘を生きていこうと思ひます。福岡教区のみなさまよろしくお願ひします」と語った。

ちょっと一息



親の相手するひまは無い夏休み再放送はない人生は一度きり

坂牧春妙 深堀正平

神の前で生と死を考える集い

◆参加者を募集中 日時：12月11日(土) 17時～12日(日) 15時 (指導：来住英俊神父) 内容：教会の秘蹟(特に病者の塗油) 自死の問題 費用：①全日程(宿泊)1万円/②全日程(宿泊なし)6千円 ③11日のみ(夕食付き)4千円/④12日のみ(昼食付き)

カトリック福岡黙想の家

カトリック御受難修道会・宗像修道院 811-4155 福岡県宗像市名残1056 Tel 0940-32-3222 Fax 0940-32-3385 インターネットで検索 福岡黙想の家 検索



ミサ用ワイン



ヴィノ デ ミサ VINO DE MISA スイートタイプ(赤)(白) ご用命 お問い合わせは 有限会社 大楠酒店 ヨハネ 青木 彰

〒815-0082 福岡市南区大楠2丁目4番8号 電話 092-531-4718 Fax 092-521-6453

別れ・出逢い・旅立ち

草苑 (SOU-EN)

カトリックのご葬儀 互助会制度もご利用できます。 木下株式会社

TEL 092-526-5656 〒810-0016 福岡市中央区平和3丁目1-5

各地の小教区からうれしい、楽しい報告

ガッツァルディ神父のダイヤモンド祝

6月13日、伊万里教会にて、主任司祭C.ガッツァルディ神父の叙階60周年(ダイヤモンド祝)の記念ミサ・祝賀会が行われた。

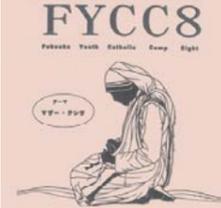
ミサは、イタリア本国から訪れたミラノ外国宣教会本部代表のザンベルレッティ神父をはじめ、ミラノ会日本管区長など6人の司祭の共同司式で行われた。佐賀県内の各教会からお祝いに駆けつけた信徒も含め約180人が参加。

ミサの中で説教を担当した櫻井尚明神父(大名町教会)は、出身の佐賀教会にいた頃ガッツァルディ神父に導かれて司祭への道を歩んだことや、佐賀地区においてのガッツァルディ神父の多大な功績



ミサ後に行われた祝賀会には、伊万里カトリック幼稚園に会場を移し、冒頭に伊万里教会の教会学校の子どもと信徒有志による劇を披露。劇の題材は新約聖書の「放蕩息子のたとえ」で、劇の結びでは改心した放蕩息子を優しく迎えた父親をガッツァルディ神父になぞらえ、これからも神父様に寄り添って神様とともに歩んでいく決意が語られた。

今年もFYCC8を開催します!



日時: 9月18日~20日
場所: 神学院
参加費: 4500円
(兄弟割引あり)
対象: 福岡県内中高生
問合せ: 十時伸治神父
主催: 福岡地区青年会
Mail: oideyo_fycc@yahoo.co.jp

とても楽しかった! 楽しかったし、教会についてもすごく考えることができた。これからも教会を大切にしていきたい。FYCCのスタッフ、神学生たち、そしてみんな、ありがとう! 最高の思い出ができました。高校生若者たちのエネルギー、一人ひとり違う存在と繋がっていくことの素晴らしさ。エネルギー、希望、可能性、創造性、若者たちからたくさんいただきました。こんな素晴らしい時を共に過ごせたことに感謝しています。 修道者

今年で8回目を迎えるようにしています。私が福岡に来て青年活動に没頭するきっかけになったのがFYCCでした。この集まりは、青年だけでなく神父様、シスター、信徒の皆様との関わりの中で作り上げ、無事終えることができたときの喜びは思い出すたびに胸が熱くなります。『神様のおはなしをみんなに届けよう、この大きな喜びを伝えてあげよう』川原神

大名町教会の取組み 「共同体を考える集い」



祝賀会の終わりにガッツァルディ神父の挨拶があり、「こうしてたくさんの方に祝っていただけたことを神に感謝します。宮原司教様から『あと10年はだじようぶ。よろしくおねがいします』と言われました。これからもみなさんの力になって働けるよう、祈ってください」と謝辞を述べ、祝賀会を終えた。

大名町教会では、「共同体を考える集い」を毎月1回ミサ後に開催している。主任の櫻井尚明神父の発案で昨年から始まった。ここ数年、大名町教会では、教会行事やミサへの参加者が減少、信徒組織の組織力や活動の低下、教会維持のための活動への参加者の減少などが話題となり、教会委員会でも信徒組織の改組を検討していた。

父「神様のおはなしを」私の大好きな歌です。この歌の通り、神さまの存在、神様のもとに集える喜び、感謝をまだ知らない中高生に伝えるために、小グループの一人が記録を担当している。毎回の参加者は60人程度、顔ぶれもほぼ同じ。期待したほどには、「新しい顔」の参加者がなかったのだが、実りも見られてきた。今年の信徒総会の参加者が例年の倍に増加したことだ。共同体への関心の高まりの反映といえないだろうか。

今年で8回目を迎えるようにしています。私が福岡に来て青年活動に没頭するきっかけになったのがFYCCでした。この集まりは、青年だけでなく神父様、シスター、信徒の皆様との関わりの中で作り上げ、無事終えることができたときの喜びは思い出すたびに胸が熱くなります。『神様のおはなしをみんなに届けよう、この大きな喜びを伝えてあげよう』川原神

西新教会の宝物 日曜日のミサの時、たまに自分の目を疑う時があります。祭壇の周りに輝いている天使たちの姿を見るのです。私たちの西新教会は、子どもが多すぎます。侍者も多すぎます。12人位になると

私も多すぎます。ただ子どもが多いわけではありません。教会学校に集まってくる子どもたちが多いのです。名簿上はもつと多いのでしようが、60%以上の子どもたちが参加してくれています。もちろん学校の行事や、スポーツなどで来られない子どももいます。が、私自身、教会学校に携わって15年くらいになります。以前は、初聖体が終わったら来なくなる子どもがほとんどでした。堅信までお休みして又その時に来るといった状態でした。そして堅信が終わると卒業だ!と思われている親も多かったと思います。今も堅信が終わると来なくなる子ども

7月4日(日)午後2時よりカテドラル大名町教会にて福岡地区信徒使徒職協議会・宣教社会部主催による講演会が開かれた。テーマは「私が望む教会と社会との関わり」。講師に松浦悟郎司教(大阪教区補佐司教)を招き行われ、北九州・熊本からの参加も含めて170人ほどの信徒で会場は埋め尽くされた。

「私が望む教会と社会との関わり」 地区信徒協 宣教社会部

講演会では松浦司教はフランス(夜と霧)や良寛、そして「カトリック教会のカテキズム」などの魂に訴えるメッセージを紹介しつつ、又そのメッセージを紐解きながら話しを展開した。司教は「社会には希望を持つ事がいっばいある」と説明しつつ、教会(信徒)は苦しみ、現実に関わり、社会的問題を共有してほしいと強調し、問題が無くなる社会ではあっても「神はけつして無関心ではない」と諭すように話した。又、ガンジーの「非暴力の思想」が如何に国家にとつては脅威であるかとの話には参加者は驚きを持って聞き入った。終わりに「神の国(正義)の実現」は「和解」と「許し」の中にあると語り、教会は「和解を生み出すために働くこと」が大切であると参加者に促した。

講演会の終了後、参加者からは「とても分かりやすい話だった」という声が多く聞かれ、教会と社会とのあり方を考える場として示唆に富んだ講演会であった。

旧約聖書は宇宙のはじまり・人類の誕生から、メソポタミア・エジプト・バビロン・ペルシャ・アッシリア・マケドニアなどの古代帝国の興亡、それに翻弄されるユダヤ人と他民族の抗争、離散の歴史を伝える巨編で、ユダヤ教・キリスト教・イスラム教という一神教共通の聖典になっています。言わば文字で残された人類が共有する遺産です。ノアの箱船、バベルの塔、ソロモンの栄華、神殿などをリアルに復元し、再構成した図解と遺跡の写真・名画で紹介いたします。

☆旧約聖書 図解雑学 雨宮 慧 著

BOOK 読め専科

☆はじめてよむ こどものせいしよ ロイス・ロック 文 A・アイリッフェ 絵 問川みゆき 訳 鈴木信一 監修

子どもための聖書物語、旧・新約聖書の中からそれぞれ10の物語を厳選。その一つひとつが12ページにまとめる綿入れ表紙を採用。サンパウロ 発行 税込定価 2100円

不動産全般/売買・賃貸・管理 なんでもお問い合わせください

(株)ジャパン・スマイルか 代表取締役 マルガリタ・マリア 西田由利子 〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号 TEL 092-761-8800 http://www.iruka-japan.com

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション

自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。

春日市上白水 5-11-102 092-517-6313 福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業

- 一般住宅(新築・改築工事)
- 鉄骨工事
- RC工事

建築の事なら何でもお気軽にご相談ください

有限会社 森山工務店

ヨゼフ 森山 新太郎

福岡市早良区四箇1丁目15番28号 ☎(092) 811-7265

木との出会い 人との出会い 神との出会い

セント・ポール FUKUOKA

キリスト教書局・信託用具・ビデオ・DVD・CD 福岡市中央区大宮2丁目(大名町カトリック教会1F) 平日/AM10時~PM5時40分 日・祝日/AM11時~PM4時(球団E定休日) TEL 092-27413688 FAX 092-27413661 URL http://www.pax-inc.co.jp

司祭召命の育成!

福岡黙想の家ご案内 8・9月

2日(月)～9日(月) ショファイユの幼きイエズス会黙想会①
 10日(火)～17日(火) ショファイユの幼きイエズス会黙想会②
 18日(水)～24日(水) サレジオ会黙想会
 28日(土) 福岡チーナクルム
 29日(日)～9月3日(金) オプレート会黙想会
9月
 6日(月)～13日(月) 奉獻生活者のための黙想会
 18日(土) 福岡チーナクルム
 18日(土)～24日(金) キリスト者のための内観黙想
 20日(月)～25日(土) 日本カトリック神学院 福岡キャンパス黙想会
 25日(土)～26日(日) 山口・島根地区信者養成研修会
 〒811-4155 福岡県宗像市名残1056
 ☎0940・32・3222 0940・32・3385
 Email: fmokuso@mvi.biglobe.ne.jp
 インターネットで検索 **福岡黙想の家** 検索

真命山諸宗教対話・霊性交流センター

※祈りの集い
 年間テーマ：教父に祈りを学ぶ
 ・日時：9月9日(木) 10時～14時半
 ・内容：聖エフライム
 ・指導者：Sr. マリア・デ・ジョルジ
 指導：フランコ・ソットコルノ神父(真命山院長) ダニエレ・サルツィ・サルトリ神父
 *8月はお休みです。
 問合せ先：真命山諸宗教対話・霊性交流センター
 ☎0968・85・3100 0968・85・3186・玉名郡和水町蜻浦 1391-7・E-mail shinmeizan@chive.ocn.ne.jp

2010年福岡地区聖書講座

テーマ：聖書とわたし ～生活の中でみことばを活かす
 日時：2010年9月12日(日) 14:00～16:00
 場所：カテドラル大名町教会
 講師：嘉松宏樹神父(長崎教区司祭)
 参加費：500円 旧新約聖書をご持参下さい。
 主催：福岡地区信徒使徒協議会 聖書部

2010年北九州地区聖書講座

メインテーマ：いただきます～神のことばを食べる
 日時：9月12日(日) 14:00～16:30
 場所：カトリック小倉教会
 講師：寺浜亮司 神父(カトリック直方・田川教会)
 主催：北九州地区信徒協 聖書部

熊本地区 第5回 神学講座開講のお知らせ

【日時】9月19日(日) 13時半～16時半
 【内容・講師】マリアさまとミサ 川添 猛 神父
 【会場】カトリック手取教会
 【受講料】各回1000円(通年5000円)
 【問合せ先】☎096-352-3030(手取教会 岸)

臨床パストラルケア一日研修

【日時】8月28日(土) 10時～17時
 【内容】患者さん訪問(スピリチュアルケアの場)
 【場所】サンパウロ福岡宣教センター
 【講師】中島保壽・加藤理人(臨床パストラルカウンセラー)
 【対象】臨床パストラルケアに関心をお持ちの方
 【研修費】一般5000円/会員4500円/学生2500円
 【主催】NPO法人臨床パストラルケア教育センター
 【問合せ先】☎096・352・7181 加藤理人
 ☎092・861・4802 海江田紀子

福岡教区広報室アドレス
 E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

8月のこよみ

案内板

会合と催し

9月のこよみ

1日(日) 年間第18主日/久留米教会堅信式
 4日(水) 聖ヨハネ・マリア・ピアンネ
 宮原司教霊名の祝と司教叙階10周年記念ミサ
 5日(木) †ペトロ平田三郎司教〔2007年第4代教区長〕
 久留米聖マリア病院・竣工式/広島・平和祈願ミサ
 6日(金) 主のご褒め/初金ミサ聖祭(浄水通教会10時)
 日本カトリック平和旬間(～15日)
 7日(土) †E.ラベル〔2004年サン・スルピス大神学院〕
 8日(日) 年間第18主日/人吉教会堅信式
 福岡地区・北九州地区平和を祈る集い
 9日(月) 長崎原爆記念日(平和祈願祭18時半平和公園集合)
 11日(水) 聖クララおとめ
 12日(木) †A.ブルトン司教〔1954年第2代教区長〕
 13日(金) 和田墓地納骨式ミサ 14時
 14日(土) 聖マキシミリアノ・マリア・コルベ司教殉教者
 15日(日) 聖母被昇天/和田墓地ミサ聖祭 14時
 18日(水) †ミカエル堤要吉〔2002年 浄水通教会〕
 20日(金) †L.デシャンブ〔2001年黒崎教会〕
 †D.グリフィン〔2001年玉名教会〕
 21日(土) 佐賀地区青年黙想会(トラピスト修道院～22日)
 22日(日) 年間第21主日
 23日(月) 神学生交流会(新田原)
 27日(金) 聖モニカ
 福岡地区婦人会感謝ミサ(カテドラル10時から)
 28日(土) 聖アウグスチヌス司教/プレ・セミの集い
 29日(日) 年間第22主日
 30日(月) †J.ガイヤール〔2007年水巻教会〕
 *ゴチックは、司教日程
 *司祭の命日は2000年以降からお載せしています。

2日(木) 常任司教委員会
 3日(金) 初金ミサ聖祭(浄水通教会10時)
 5日(日) 年間第23主日
 6日(月) 佐賀地区司祭集会
 †フランシスコ X 牧山重光〔2005年門司港教会〕
 8日(水) 聖マリアの誕生
 10日(金) 日本205福者殉教者/†J.パーク〔2000年崎津教会〕
 12日(日) 年間第24主日/†A.セトアイン〔2003年泰星学園〕
 13日(月) 北九州地区司祭集会
 14日(火) 十字架賛美/司祭評議会
 15日(水) 悲しみの聖母
 18日(土) FYCC 8(神学院福岡キャンパス ～20日)
 19日(日) 年間第25主日
 20日(月) 聖アンデレ金と同志殉教者 敬老の日
 21日(火) 聖マタイ使徒福音記者
 23日(木) †J.パイヨ〔2004年光丘教会〕 秋分の日
 24日(金) 福岡教区カトリック学校長・理事長会合
 26日(日) 年間第26主日/世界難民移住移動者の日
 27日(月) 朝拝会・奨励
 28日(火) 聖トマス西と15殉教者
 29日(水) 聖ミカエル・聖ガブリエル・聖ラファエル大天使
10月
 1日(金) 幼きイエスの聖テレジア
 2日(土) 守護の天使
 3日(日) 年間第27主日/水巻教会堅信式
 4日(月) アシジの聖フランシスコ
 7日(木) ロザリオの聖母/†J.ノーリス〔2007年八代教会〕
 9日(土) †K.オマホニ〔2003年荒尾教会〕
 10日(日) 年間第28主日/†E.ハトリック〔2007年笹丘教会〕

福岡

◆紫苑 on.心のセミナー
 ◇やさしいクッキング教室
 (日時) 9月25日(土) 11時(場所) 黙想の家カトリック案内所 ☎0940・38・891
 5(定員) 10人(対象) 心にハ
 ンディーのある方、一人暮らしの方(指導者) 真弘龍子先生(むなな市民ネットワーク) 家庭料理教室・鈴木忠一神父(御受難修道会)(参加費) 500円(食料費など)(持参品) エプロン・パンダナ・小さいタッパー(申込締切) 9月23日(連絡先) ☎0940・33/2731吉永昌子
 ■福岡結婚準備講座
 (日時) 9月4日(土) から10月2日(土) 18時半から21時迄の全5回(場所) カトリック大名町教会(参加費) カッコで一万円(問合せ先) ☎092・741・3687
 ■虹の会
 (日時) 9月18日(土) 13時30分から(場所) カトリック大名町教会3階(内容) 子どもを亡くした悲嘆の分かち合い(参加費) 600円(問合せ先) ☎090・1162・639
 5 柴田須磨子
 ■在世フランス人会
 (日時) 9月19日(日) 14時から(場所) 高宮フランス人会修道院在世会集会所(指導者) 戸村悦夫神父(問合せ先) ☎092・843・5831岩崎・8月休会
 ■グレゴリオ聖歌を歌う会
 (日時) 9月21日(火) 11時(場所) 聖クララ寮(福岡市南区)(問合せ先) ☎096・380・5686堺敬子
 ■美野島司牧センター
 あなたの勇気が路上の命を支えます! ●ホームレスの方に手作りのお昼ごはんを毎週火曜日10時30分 ●ホームレス支援

北九州

◆小倉祈りの集い
 (日時) 8月27日(金) 13時半から15時(場所) カトリック小倉教会信徒会館2階(指導者) ガブリエル神父(御受難修道会)(内容) 『みことばを味わう』賛美と感謝の祈り(連絡先) ☎090・3985・5209松田裕子
 ■北九州召命を共に祈る会
 (日時) 9月16日(木) 10時から(場所) カトリック水巻教会(内容) ミサ・ミーティング(指導者) 井手公平神父(門司教会主任)(問合せ先) ☎093・963・2359江口
 ◆佐賀
 ■佐賀祈りの集い
 (日時) 8月7日(土) 10時半～12時(場所) 佐賀カトリック会館(内容) ミサと祈り(次回) 9月4日(土)(問合せ先) ☎0952・30・8347吉武
 ◆熊本
 ■熊本結婚準備講座
 (日時) 9月4日(土) から

各地の集中豪雨で大きな被害をもたらしたかと思えば、今度は梅雨明け、一転して連日の猛暑。この猛暑は日本だけではなく世界的なものだそう。やはり夏は元気に乗り越えよう。さて、8月は、各地で平和について考え、祈る集いがあります。福岡は長崎や広島のように被爆地ではありませんが、私たちの身近なところから平和について考えてみましょう。また、9月号は休刊ですが、夏の間の出来事をお待ちしています。

編集後記

10月2日(土) 19時から21時半毎週土曜日の全5回(場所) カトリック手取教会(参加費) カッコで一万円(問合せ先) ☎096・352・3030
 ☎096・352・1515
 ■熊本地区召命を共に祈る会
 (日時) 9月16日(木) 11時(場所) カトリック健康教会(内容) ロザリオと話し合い(問合せ先) 健康教会 ☎096・368・2825青木悟神父
 ■カトリック看護協会福岡支部の集まり
 (日時) 9月12日(日) 14時30分(場所) 久留米聖マリア病院(問合せ先) Sr ☎096・352・7181

福岡発着 珠玉のフランス8日間巡礼

ルルドとモンサンミッシェルを訪れるフランス巡礼
 ◆旅行期間: 2010年10月15日(金)～22日(金)
 ◆旅行代金: 348,000円/空港税・燃料税等別(2名様1室/朝食6・昼食5・夕食6含む)
 ◆最少催行人数: 15名様
 ◆企画・随行: カトリック歴史研究家 パウロ山本富夫氏(長崎大司教区所属:要理教師一級)
 ◆お問合せ先: JTB九州福岡支店 担当: 堀田/泥谷 ☎092-731-0685

COSMOS
 スポーツ用品・OA・文具 **コスモス**
 〒830-1224 三井郡大刀洗町鶴木67-3
 TEL 0942-77-3199
 代表者 ベトロ 平田 清

社会医療法人 雪の聖母会
聖マリア病院
 医科・歯科臨床研修指定病院 総合産産期医療センター
 地域医療支援病院 がん診療連携拠点病院
 救命救急センター 地域災害拠点病院
 *入院基本料(一般病棟7:1)
 〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
 TEL0942-35-3322(代表)
 FAX0942-34-3115
 http://www.st-mary-med.or.jp

痛みの相談室
いくま整骨院
 受付時間 平日: 9:30～12:00
 14:30～20:00
 土曜: 9:30～15:00
 休診: 日曜・祝祭日
 福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
 TEL 092-884-0134
 ペトロ 生熊 公吉

サンパウロ福岡宣教センター
 永井隆徳 愛と平和
 もの語る (この星の神を見つめ直してみませんか)
 1階 聖書・信心書・聖人伝・カトリック・絵本・一冊書
 2階 家庭劇場・十字架・CD・ご縁・ご縁・CD・DVD
 営業: 10:00～18:00 定休日: 日曜日・祭日・8/14・16
 〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26
 tel.092-721-2032 fax.092-739-3930